

建築教育本委員会

A.日 時:2007. 5. 25 (金) 18:00~20:00

B.場 所:建築学会会議室

C.出席者:委員長稲葉武司

幹 事 長澤 夏子 元岡 展久
委 員 五十嵐 健 石川 孝重 阿部 浩和

D.提出資料

議事に先立ち資料内容の確認を行った。

- ・ 前回議事録の確認。
- ・ HPに昨年度の各委員会の活動報告が出ている。
- ・ 2008年度大会の内容が決まった。会場、期間、講演題数
- ・ 非公式行事については、学術委員会がまとめて申し出る。20日まで。今年は教育はやらないだろう。
- ・ オーガナイズドセッションは、「教育」分野は適していると思われるので、今後積極的にやれるとよい。
- ・ パネルディスカッション雑誌掲載原稿の確認。
- ・ パネルディスカッション資料作成スケジュール 原稿締め切り7月13日

E.報告事項

稲葉委員長より:全国建築系大学教育連絡協議会について

本教育委員会は斉藤新会長や学会の方針に沿ったものとするために、教育についてのお考えなどもお聞きすべきだろうとの見解。

1.教育委員会のHP案について(長澤幹事より)

会員、社会への情報発信という観点から、議事録、News、今何をやっているのか?目標などをのせてはどうか。

2.大会パネルディスカッション資料について(五十嵐主査より)

パネルディスカッション雑誌掲載原稿の確認。

パネルディスカッションの資料を作成したい。

資料作成のスケジュール:原稿締め切り7月13日

資料内容

(1) 各パネリスト6ページ×5人=30ページ 教材や教育方法を紹介していただく。

肖像権・著作権の問題を連絡して作成いただく。

(2) 稲葉委員長に今回のパネルディスカッション、および教育小委員会主査に、書いてもらう。各小委員会委員長に、1/2ページ程度(650字)、同様に書いてもらう。

(3) 進路調査の要旨を入れてはどうか。

・6月22日を締め切りとして、各講師に依頼。

3.建築教育シンポジウムについて

シンポジウム日程の目安。シンポジウムテーマの次回たたき案を作る必要がある。

日程案 2008年1月26日(土)。

4.建築教育研究小委員会について(阿部主査より報告)

活動計画と、研究小委員会の委員案

他の小委員会の委員候補との調整

5.建築教育将来検討小委員会 について(五十嵐主査)

委員の候補案:芝浦工業大学の衣袋先生に幹事を依頼。

他、候補者検討中(6月ごろ決定)で、その後、公募で2名程度

継続教育・生涯教育(CPDなど)と大学での実践教育との連携ができないか。産学連携による活動ができるような人選を考えている。

アウトリーチとの違いについて、三輪先生のご意見もうかがってから。

6.建築教育ネットワーク小委員会について(石川主査より)

学会内に多数、教育に関連する委員会などがある。これまで縦割りだったものを境界領域的な部分、重なっている部分をみつけていくのが目標である。これまで、さまざまな問題が起こるごとに、立ち上げられてきた。常設委員会として、それらの活動や関連を把握するために、組織や活動の現状の調査。小委員会の委員は15名の枠があるが、そういった内容から、あちこちから集める必要があるだろう。研究分野(環境、構造、計画、...)の中から、それぞれ出てもらう必要もあるし、また各委員会の人にも入ってもらう必要があるだろう。必然的に人数が多くなることや、今後これに関する調査をしながらとなるため、人選についても少し長いスパンでも計画をたてたい。大会やその他の機会に懇談会などを行うのが適切と考えている。プロデューサーとしての役割、教育支援会議等も検討

幹事 伊村先生(武蔵野大学)

次回から小委員会幹事に参加いただく。

次回、小委員会の名前確定。

進路調査の件 榊原先生(武庫川女子大学)から連絡いただいた件はWGに参加いただくように検討(長澤幹事より)

以上